

# 大鹿村中央構造線博物館たより 153号



2022年2月発行

TEL: (0265) 39-2205  
staff69@mtl-muse.com

## 南アルプスは傾きながら上昇している！

昨年からかさやま末に、飯島町の傘山に行きました。飯島町は、南北に細長い伊那谷のちょうど真ん中辺りに位置するため、傘山の山頂からは、伊那谷と南アルプスの山々が北から南まで広範囲にわたって見渡すことができます。

南アルプスの山々は、300万年前頃から現在にかけて、天竜川あたりから東側をひと塊のブロックとして、西に傾きながら隆起し続けていることが知られています(図1)。傘山の頂上から見ると、南アルプスブロックには、稜線が4つあるように見えます(図1, 図2, 写真1の①、②、③、④)。東にある稜線ほど標高が高くなっており、傾きながら隆起しているということが見て取れます。(宮崎)

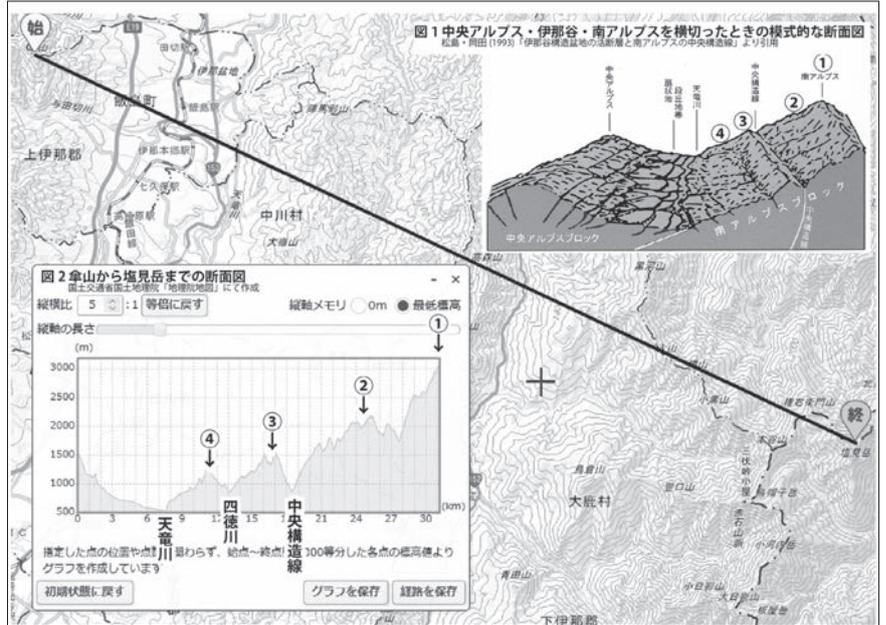


写真1 傘山山頂から見た南アルプス(①、②、③、④の4つの稜線が見える。)

## 南アルプスの山より目立つのは？

傘山の登山口のある飯島町岩間、御嶽神社の登り口の辺りから南アルプス方面を眺めると、塩見岳、赤石岳などの3000mの峰々が美しく見渡せますが、その手前中央に太い白字で「一」の字を書いたようなところがひときわ目立って見えます(写真2)。双眼鏡で詳しく見ると、向山牧場のようです。草地に雪が積もって白く見えているようです。(宮崎)



写真2 写真中央、白字に太い「一」の字は、向山牧場！